２０２２年（令和４年）５月１１日
神奈川県バレーボール専門部審判委員会

県選手権大会の審判について

１．審判の行い方（感染症対策も含む）

【ファーストレフェリー（主審）・セカンドレフェリー（副審）】

① 試合前後に握手は行わない（その場で一礼）。トスは選手との距離を保ち、短時間で行う。

② 生徒役員や他の役員とも十分距離（できるだけ２ｍ以上）を保ち、大きな声や対面での会話はしない。

③ 主審・副審は顧問が担当し、**通常のホイッスルまたは電子ホイッスルを使用する。**マスクは着用する。**通常のホイッスルを使用する場合は、マスクの中で使用する。**ホイッスルカバーのみの使用はしない。使用前後は消毒を行う。

④ 試合中のボール交換は、副審がボールを受け取り、副審が交換する。ボールを拭くのも副審が行う。会場または専門部でタオル等を用意する。

⑤ タイムアウトやセット間には、手指消毒をおこなう。特に副審はボールに触れることもあるので、こまめに手指消毒をする。

【スコアラー・アシスタントスコアラー】

① 会話をすることがあるので、マスクを着用する。可能な限り距離を離して座る。

② 物品（筆記用具）の共用はしない。サイン採取時は、**各自が用意したペン**を使用する。

【ラインジャッジ】【点示】

① マスクを着用する。

② **フラッグは、各校で持参する。**また、使用前後で消毒をする。試合前後に消毒を行う。

③ 点示の椅子（得点板の椅子）は用意する。試合前後で得点板・椅子ともに消毒をする。

２．審判の割り当てについて

① １日目については、ほぼすべてのチームに一度は審判を担当していただきます。審判割りについては原則、以下の通りでお願いします。

第１試合：第２試合の両チーム

第２試合：第１試合の負けチーム（主審・副審は第１試合の両チーム）

第３試合：第２試合の負けチーム（主審・副審は第２試合の負け・第１試合の負けチーム）

第４試合：両コート第３試合の負けチーム

② １日目については、各会場に原則１名をコントローラーとして派遣する。主審・副審は原則参加チームで運営する。２日目については、生徒役員の派遣はせず、最小限の人数で審判員を派遣する。状況によっては、参加チームで審判を行う。